

AI 基本検定

公式シラバス ver.1.0

AI Basic Certification — Official Syllabus

発行	プライベート AI 推進協会 (PAPA) privatellm.jp
バージョン	ver.1.0 / 2026 年 2 月
対象資格	AI 基本検定
受験料	¥3,000 (税込)
配布	無料 (privatellm.jp)

1. 資格の概要

AI 基本検定は、AI に関する基礎知識を持ち、ローカル AI ・ クラウド AI の違いを理解した上で、業務への適切な活用判断ができる人材を認定する資格です。

プログラミングや IT 専門知識は一切不要です。AI に興味があるビジネスパーソンであれば誰でも受験できます。

2. 試験概要

対象者	AI に興味があるビジネスパーソン全般 (IT 知識・プログラミング不要)
出題数	20 間 (4 択)
試験時間	30 分
合格基準	70% 以上 (14 間正解)
受験形式	オンライン (自宅・職場から受験可能)
受験料	¥3,000 (税込)
合格証有効期限	2 年間

推奨学習時間	3~5 時間 (数日以内)
--------	---------------

3. 出題範囲

分野	出題比率	問題数	概要
AI の基礎知識	30%	約 6 問	AI・機械学習・深層学習・LLM・生成 AI
ローカル AI vs クラウド AI	35%	約 7 問	違い・メリット・デメリット・選択基準・コスト
主要クラウド AI サービス	20%	約 4 問	ChatGPT・Claude・Gemini・Copilot・比較
ビジネス活用の基礎	15%	約 3 問	プロンプト・著作権・情報漏洩・利用規約

第1分野：AI の基礎知識（30%・約 6 問）

- AI とは何か — 定義・歴史・現在の状況
- 機械学習・深層学習・生成 AI の違い
- LLM (大規模言語モデル) の仕組みと特徴
- AI ができること・できないこと (限界の理解)
- ハルシネーション (幻覚) とその対策
- 日本国内・世界の AI 普及状況

第2分野：ローカル AI vs クラウド AI（35%・約 7 問）

本検定の最重要分野です。この分野を深く理解することが合格への鍵となります。

- クラウド AI の仕組み — データが外部サーバーに送信される
- ローカル AI (プライベート LLM) の仕組み — データが手元で完結
- 情報漏洩リスクの比較
- コスト構造の違い (従量課金 vs 固定費)
- 処理速度・精度・最新性の比較
- 導入難易度・カスタマイズ性の比較
- 用途別の最適な選択基準
- インターネット接続の要否
- 代表的なローカル AI ツール (Ollama・LM Studio など概要)

第3分野：主要クラウド AI サービス (20%・約4問)

- ChatGPT (OpenAI) の特徴・プラン・用途
- Claude (Anthropic) の特徴・安全性へのアプローチ
- Gemini (Google) の特徴・Google 連携
- Microsoft Copilot の特徴・Office 連携
- 各サービスの比較 (強み・弱み・価格帯)
- API とコンシューマー版の違い

第4分野：ビジネス活用の基礎 (15%・約3問)

- プロンプトエンジニアリングの基本
- AI の著作権・知的財産権に関する基礎知識
- 個人情報保護と AI 利用の注意点
- 各サービスの利用規約・データ学習ポリシーの概要
- 社内 AI 活用ルール策定の必要性

4. 推奨学習方法

公式テキスト（無料・privatellm.jp より DL）を通読後、模擬試験を解くことで1週間以内の合格が可能です。

- STEP 1: 公式テキストを通読（3～4時間）
- STEP 2: 第2分野（ローカル vs クラウド）を重点復習
- STEP 3: 模擬試験（20問）で仕上げ

5. 次のステップ

AI 基本検定合格後は、以下の資格へのステップアップを推奨します。

- ChatGPT 活用初級 (¥5,000) — クラウド AI を実務で使いこなす
- PrivateLLM 構築士 3 級 (¥8,000) — ローカル AI の専門知識を習得